

㈱エムビデオプロダクション 環境行動計画

取 組 方 針

㈱エムビデオプロダクションは、平成元年の会社設立より今日まで、県市町村の観光PR・文化財記録から、企業PR、映像制作を主体とした業務に取り組んできました。当社の事業活動を進めていく中で、「環境に配慮した事業運営」を掲げ省資源、省エネルギーをはじめとした環境保全に取り組んで行き、常に環境との調和を考え環境規則の遵守はもとより、自主基準を設定し、社会的責任を果たします

1. 再生資源の有効利用を図ります（紙使用量の節減及び節水）
2. 資源ロス、廃棄物の削減を推進します
3. エネルギーの有効活用を推進します
4. 物品の購入時、グリーン購入を推進します

平成 24 年 6 月 20 日

㈱エムビデオプロダクション

代表取締役社長 宮野 晃

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標—1</p>	<p>エネルギーの有効活用推進のための取組</p> <p>[23年度を基として16825 kg-CO₂のデータをふまえて二酸化炭素の排出量を25年度末(26年3月)までに2%(16488 kg-CO₂)削減します]</p>
<p>具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 空調温度を夏季28℃、冬季20℃に設定 ● クールビズ・ウォームビズの導入 ● 不使用場所、不使用時の照明、空調などの電源オフ <ul style="list-style-type: none"> －休み時間・無人の部屋・残業時の無人箇所など ● 各種設備の省エネ設定の励行 <ul style="list-style-type: none"> ◇ －PCモニター、温水器、ウォシュレットなど ● 不要箇所の蛍光灯撤去 ● 空調効率化のための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ◇ －フィルターの定期清掃 ● 残業短縮による電力消費の削減冷房温度（28度）と暖房温度（20度）を厳守する ● エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する ● エアコンを使用しない期間は、動力ブレーカーを切る ● 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源OFFを徹底する ● 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく ● 二酸化炭素の排出量を2%削減する

<p>目標一2</p>	<p>再生資源の有効利用（紙使用量の節減及び節水のための取組）</p> <p>〔23年度を基としてコピー紙の使用量 85.6kg を 25年度末(26年3月)までに2%(83.7kg)削減します〕</p>
<p>具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙資源のムダの排除 ● 一両面印刷、封筒類の再利用、コピーの使用枚数管理など作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する ● 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める <ul style="list-style-type: none"> ◇ 一コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ◇ 一電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する

目標—3	資源ロス、廃棄物の削減のための取組
具体的な取組	<p style="text-align: center;">(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物は、決められたごみ箱（可燃、不燃、コピー用紙、 <ul style="list-style-type: none"> ✧ パンフレット、封筒、廃プラスチック）に分別して出す ● シュレッダーの使用は機密書類に限定する ● ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する ● 紙資源のムダの排除 ● 使い捨て製品の使用抑制 <ul style="list-style-type: none"> ✧ ー充電式電池の使用、マイカップ運動、 ● IT活用によるペーパーレス化 ● ー共通資料のセンターファイル化、グループウェアの活用など ● 廃棄物の再資源化 <ul style="list-style-type: none"> ✧ ーゴミの分別回収、リサイクルボックスの設置 ● ーインクカートリッジの回収サービスの利用など ● 資源消費量の継続的計測と社内公表による使用量抑制 <ul style="list-style-type: none"> ✧ ー電力量、燃料、紙、水など <p style="text-align: center;">(商品の仕入れ・販売に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕入れ・納入にはできるだけ通い袋を使用する ● 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する ● 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう <p style="text-align: center;">(公共交通機関の利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 二輪車（自転車、電動自転車、バイク）の活用 ● 低燃費車両（軽自動車、ハイブリッドカー等）への切り替え ● アイドリングストップを徹底する

目標-4	環境保全活動とグリーン購入、社員教育などのための取組
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ● グリーン購入の実施 エコ電池、用紙類など ● 環境問題への啓発活動の取組 ● 社員の環境意識向上への取り組み <ul style="list-style-type: none"> -HP・による啓発活動 -エコバック、マイカップなど啓発グッズの携帯 ● 環境関係法令の理解と遵守のための教育 <ul style="list-style-type: none"> -「もったいない」意識の徹底 ● 自治体の環境講習会への参加 ● 社内で取り扱うグリーン製品のリストを作成し、配布する ● 節電（適正電圧の設定）装置の導入による効果を検討する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、環境管理責任者を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。